

3 学期終業式

皆さんおはようございます。新型コロナウイルス感染予防のため、放送での終業式とします。

令和元年度が終わります。この1年を振り返ってどうでしたか。どれだけ成長できましたか。

3月19日に第3学区複数志願選抜の合格者発表がありました。その1ヵ月前には理数探究類型特色選抜と美術科推薦入学の合格者発表がありました。親子で歓喜する姿、涙する姿を目の当たりにして、私も胸が熱くなりました。皆さんにもそんな瞬間があったはずです。明高に入学して、1年あるいは2年が経とうとしています。入学した時の決意を今も持続できていますか。目標に向かって邁進し続けていますか。夢を追い求め続けていますか。自分自身に問いかけてみてください。

さて、数年前のことですが、イギリス・オックスフォード大学のオズボーン准教授が、『雇用の未来』という論文の中で、あと10年で消えてなくなる職業を発表しました。これまで人間にしかできないと思われていた仕事が、ロボットなどの機械、いわゆる人工知能にとって代わられるというのです。皆さんはどんな職業がなくなると思いますか。論文には、受付や案内の仕事、事務員、作業員、修理工、店員、販売員、オペレーター、ネイリスト、スポーツの審判など702の職業が挙げられています。現に、この中には、この数年間で現実のものとなった職業がいくつもあります。このままいくと、超高齢化社会を迎える10年後には、医療や福祉関係の仕事を除いて、日本の全労働者の3、4割ほどの人が職を失うこととなります。一方で、ロボットデザイナー、ロボット修理工、ロボットセラピスト、ロボットトレーナー、ロボットファッションデザイナーといった、ロボット関連の仕事が新たに必要になると考えられています。

以前は、二十歳頃までに身につけた知識や技能でその後の生活が保障されていました。しかし、これからは、絶えず知識や技能を吸収し続けなければなりません。つまり、学び続けなければなりません。というのは、就いた職業がずっとあり続ける保障がないからです。しかも、一見関係がないと思われる他の分野を学ぶ必要性も増してきます。例えば、技術者の場合、

特許のことを考えると法律の知識が必要です。

原材料コストのことを考えると為替レートなどの経済の知識が必要です。

海外とのやりとりのことを考えると英語力も必要です。

こうして考えると、これからの社会に生きる条件は、何を身につけたかではなく、今後どれだけのことを身につけていけるか、だと思えます。こう言うと、これまでの学習を否定しているように聞こえるかもしれませんが、決してそうではありません。今後さまざまなことを身につけていくためには、その基盤となる基礎学力がますます重要になってくるということを強く認識してほしいと思います。学習に無駄はないのです。

皆さんは、受験に関係がない、興味がないなどといった理由で疎かにしている科目はありませんか。苦手科目を避けて通ろうと逃げていませんか。こうした姿勢では、これからの社会を生き抜くことはできません。ぜひ、10年後、20年後の自分のために、向学心を持ち、あらゆることを学ぼうとする姿勢を持ち続けてほしいと思います。

今日、通知票を渡します。令和元年度の自分としっかり向き合い、その反省の上に立って、また、合格者発表のあの瞬間を思い起こし、「初心」にかえて学び続けてほしいと思います。令和2年度の皆さんの飛躍と成長を期待しています。

最後に、新型コロナウイルスの感染が拡大しています。いつ、誰が感染してもおかしくない状況です。不要、不急の外出、人が密集する場所への外出は避け、やむなく外出した場合でも、手洗い・消毒とマスクの着用を徹底し、皆さん一人一人が感染予防に努めて下さい。また、今後の対応については、HPを通してお知らせします。毎日、確認をお願いします。